

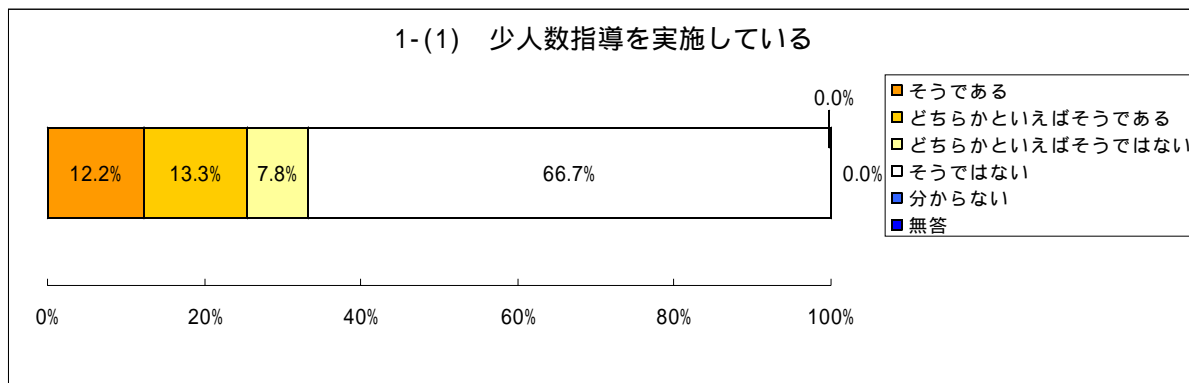
中学校学級担任

番号	質問項目
1 - 1	少人数指導
1 - 2	チーム・ティーチング
1 - 3	習熟度別指導
1 - 4	コンピュータ活用授業
1 - 5	学校図書館活用授業
1 - 6	課題解決的学習
1 - 7	読書を習慣化させる取り組み
1 - 8	発展的課題を取り入れた授業
1 - 9	補充指導
1 - 10	宿題
2	児童生徒たちの授業の理解度の認識
3	総合的な学習の時間の課題
4	習熟度別指導の課題
5	児童生徒の平日の家庭学習時間の指導
6 - 1	評価活動
6 - 2	評価の客観性
6 - 3	児童生徒の観察
6 - 4	指導方法へのフィードバック
6 - 5	児童生徒の学習状態の連絡
6 - 6	学習意欲を高める評価
6 - 7	評価と入試選抜方法
7	家庭や地域社会に望むこと

問1 - 1 少人数指導

あなたがふだん行っている指導に関して、あてはまるものを一つ選んでください。

- 「少人数指導を実施している」
- 1 そうである
 - 2 どちらかといえばそうである
 - 3 どちらかといえばそうではない
 - 4 そうではない
 - 5 分からない

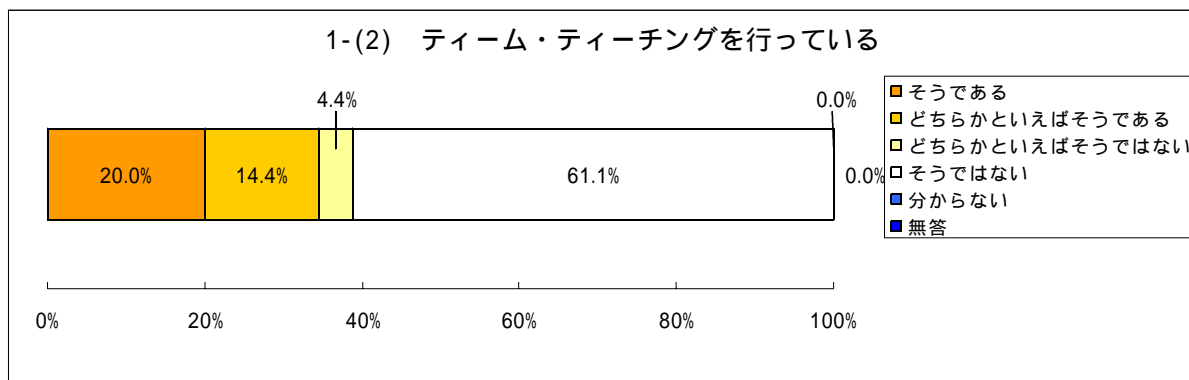


「どちらかといえばそうである」と合わせると、少人数指導を実施している学級担任はおよそ4人に1人(25.5%)である。

問1 - 2 ティーム・ティーチング

あなたがふだん行っている指導に関して、あてはまるものを一つ選んでください。

- 「ティーム・ティーチングを行っている」
- 1 そうである
 - 2 どちらかといえばそうである
 - 3 どちらかといえばそうではない
 - 4 そうではない
 - 5 分からない



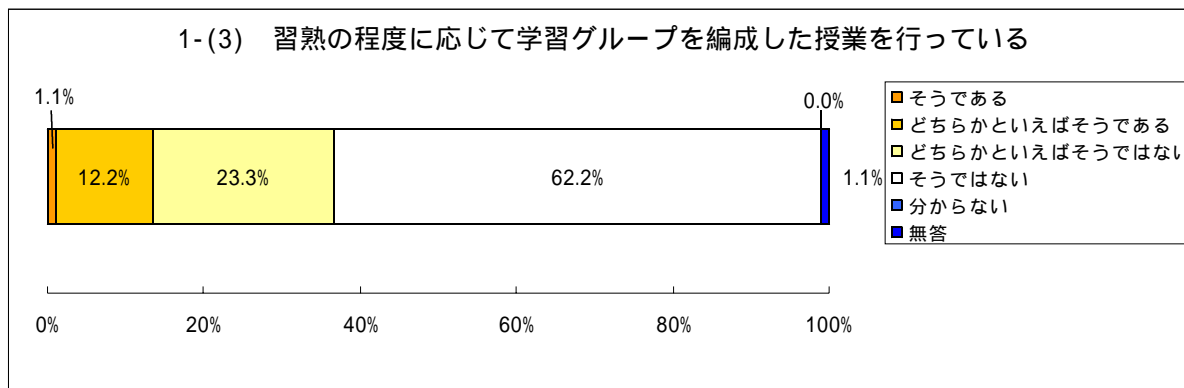
「どちらかといえばそうである」と合わせると、ティーム・ティーチングを行っている学級担任はおよそ3人に1人(34.4%)である。

問 1 - 3 習熟度別指導

あなたがふだん行っている指導に関して、あてはまるものを一つ選んでください。

「習熟の程度に応じて学習グループを編成した授業を行っている」

- 1 そうである
- 2 どちらかといえばそうである
- 3 どちらかといえばそうではない
- 4 そうではない
- 5 分からない



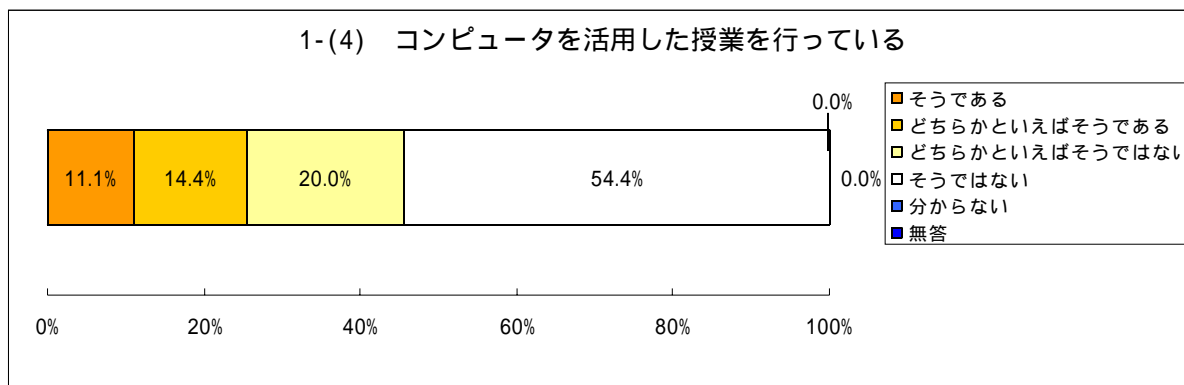
「どちらかといえばそうである」と合わせると、習熟の程度に応じて学習グループを編成した授業を行っている学級担任は13.3%である。

問 1 - 4 コンピュータ活用授業

あなたがふだん行っている指導に関して、あてはまるものを一つ選んでください。

「コンピュータを活用した授業を行っている」

- 1 そうである
- 2 どちらかといえばそうである
- 3 どちらかといえばそうではない
- 4 そうではない
- 5 分からない



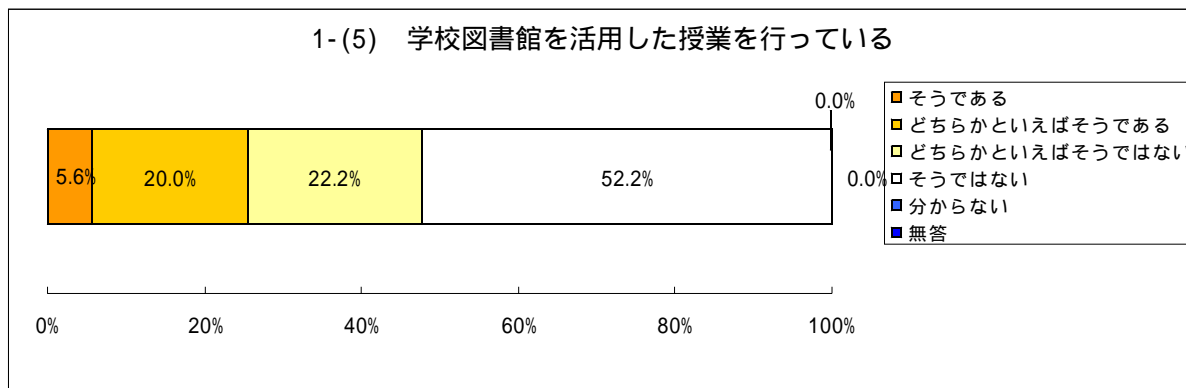
「どちらかといえばそうである」と合わせると、コンピュータを活用した授業を行っている学級担任はおよそ4人に1人（25.5%）である。

問 1 - 5 学校図書館活用授業

あなたがふだん行っている指導に関して、あてはまるものを一つ選んでください。

「学校図書館を活用した授業を行っている」

- 1 そうである
- 2 どちらかといえばそうである
- 3 どちらかといえばそうではない
- 4 そうではない
- 5 分からない



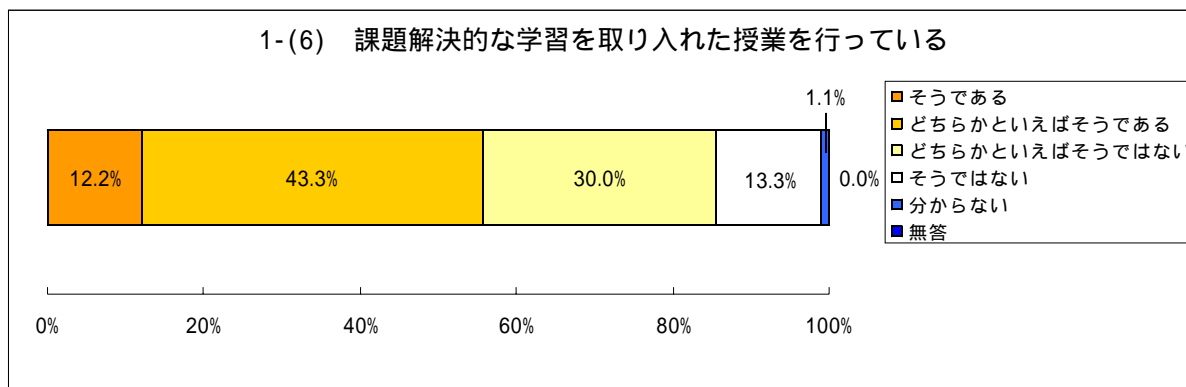
「どちらかといえばそうである」と合わせると、学校図書館を活用した授業を行っている学級担任は4人に1人(25.6%)である。

問 1 - 6 課題解決的学習

あなたがふだん行っている指導に関して、あてはまるものを一つ選んでください。

「課題解決的な学習を取り入れた授業を行っている」

- 1 そうである
- 2 どちらかといえばそうである
- 3 どちらかといえばそうではない
- 4 そうではない
- 5 分からない



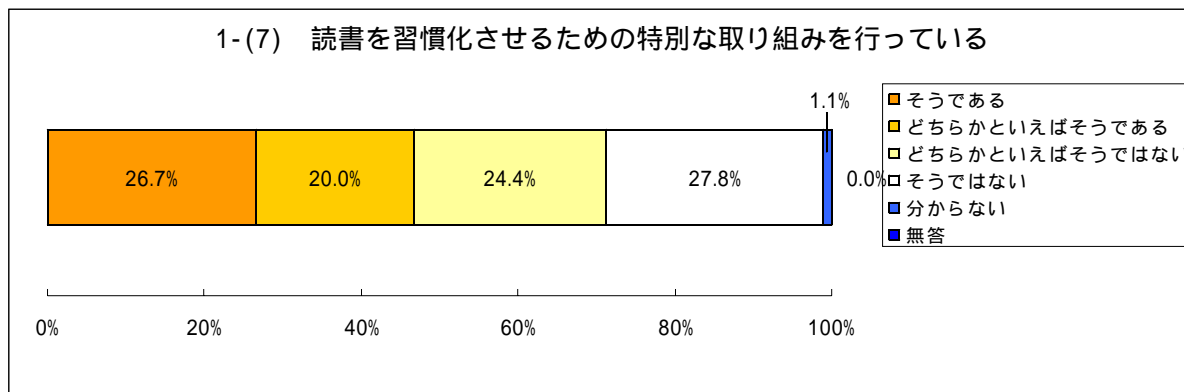
「どちらかといえばそうである」と合わせると、課題解決的な学習を取り入れた授業を行っている学級担任は6割弱(55.5%)である。

問1 - 7 読書を習慣化させる取組

あなたがふだん行っている指導に関して、あてはまるものを一つ選んでください。

「読書を習慣化させるための特別な取組みを行っている」

- 1 そうである
- 2 どちらかといえばそうである
- 3 どちらかといえばそうではない
- 4 そうではない
- 5 分からない



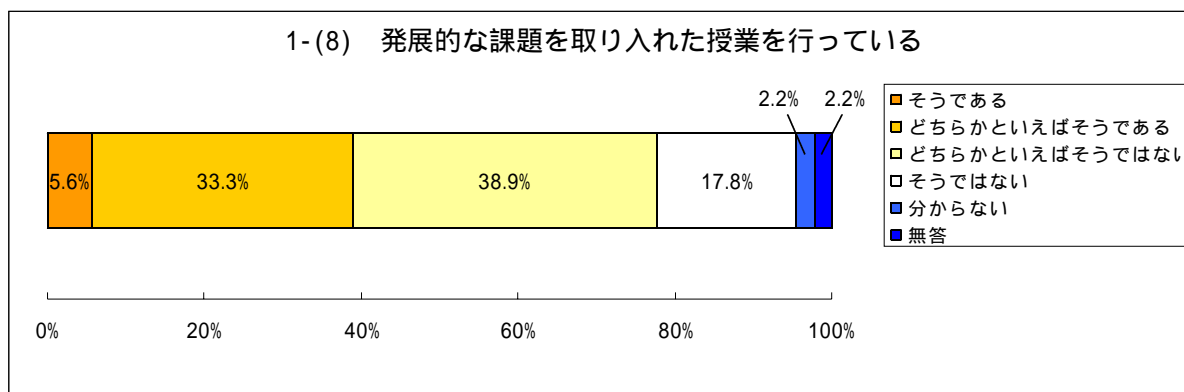
「どちらかといえばそうである」と合わせると、読書を習慣化させるための特別な取組みを行っている学級担任は5割弱（46.7%）である。

問1 - 8 発展的課題を取り入れた授業

あなたがふだん行っている指導に関して、あてはまるものを一つ選んでください。

「発展的な課題を取り入れた授業を行っている（一部の生徒を対象に発展的な課題を与える場合も含む）」

- 1 そうである
- 2 どちらかといえばそうである
- 3 どちらかといえばそうではない
- 4 そうではない
- 5 分からない

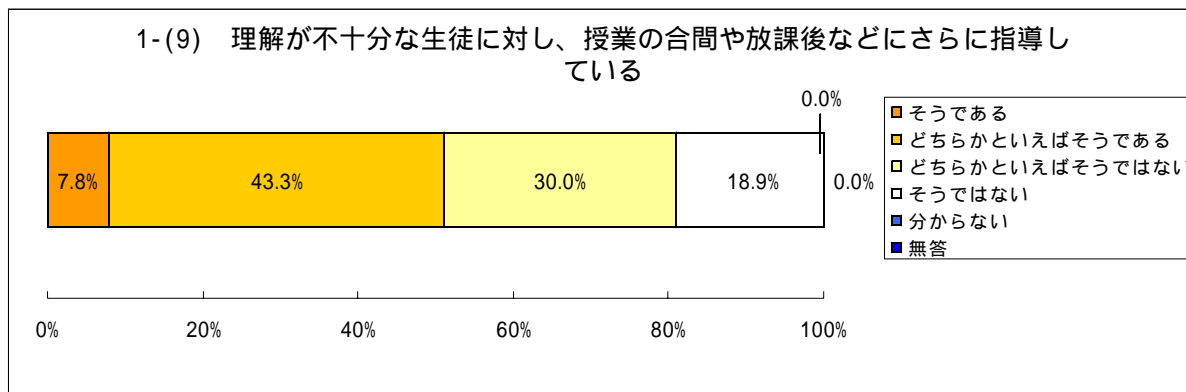


「どちらかといえばそうである」と合わせると、発展的な課題を取り入れた授業を行っている学級担任は4割弱（38.9%）である。

問 1 - 9 補充指導

あなたがふだん行っている指導に関して、あてはまるものを一つ選んでください。
 「理解が不十分な生徒に対し、授業の合間や放課後などにさらに指導している」

- 1 そうである
- 2 どちらかといえばそうである
- 3 どちらかといえばそうではない
- 4 そうではない
- 5 分からない

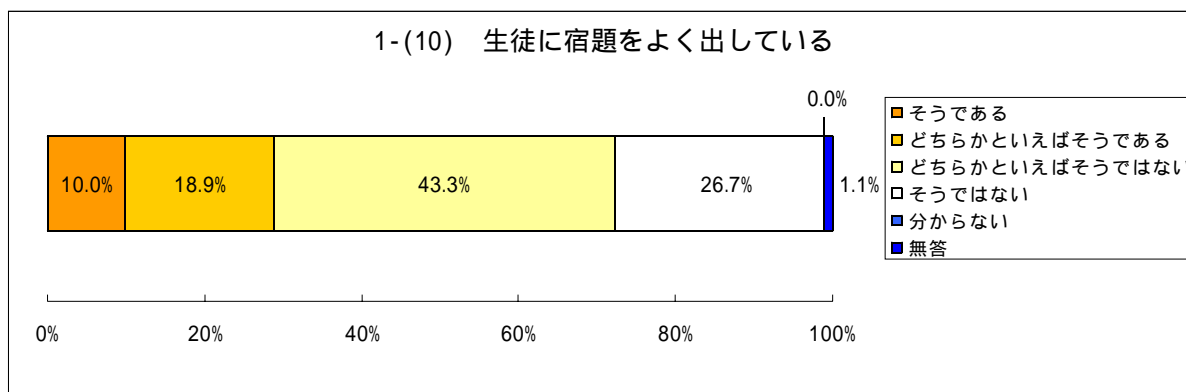


「どちらかといえばそうである」と合わせると、理解が不十分な生徒に対し、授業の合間や放課後などにさらに指導している学級担任は5割強（51.1%）である。

問 1 - 10 宿題

あなたがふだん行っている指導に関して、あてはまるものを一つ選んでください。
 「生徒に宿題をよく出している」

- 1 そうである
- 2 どちらかといえばそうである
- 3 どちらかといえばそうではない
- 4 そうではない
- 5 分からない

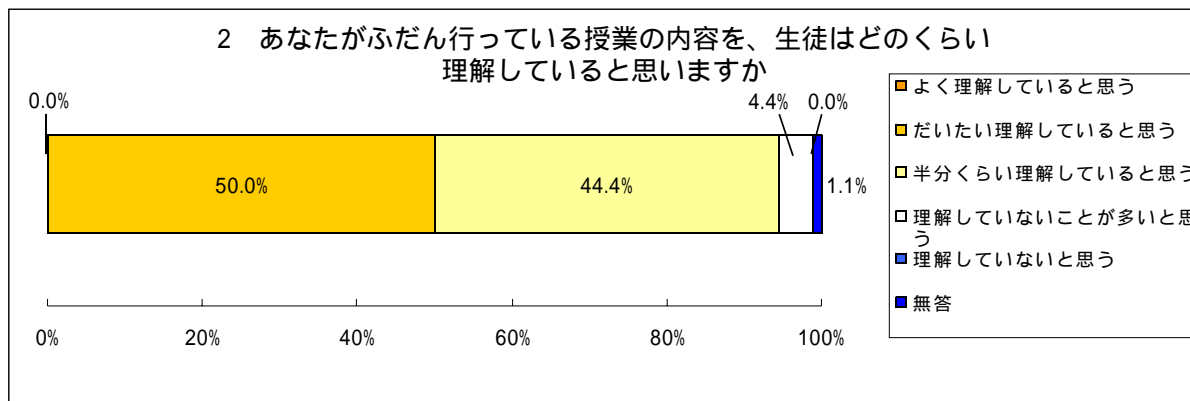


「どちらかといえばそうである」と合わせると、生徒に宿題をよく出している学級担任は3割弱（28.9%）である。

問2 児童生徒の授業の理解度の認識

あなたがふだん行っている授業の内容を、生徒はどのくらい理解していると思いますか。一つ選んでください。

- 1 よく理解していると思う
- 2 だいたい理解していると思う
- 3 半分くらい理解していると思う
- 4 理解していないことが多いと思う
- 5 理解していないと思う



「よく理解していると思う」と答えた学級担任はいなかった。「だいたい理解していると思う」が5割、「半分くらい」が4割強（44.4%）であった。

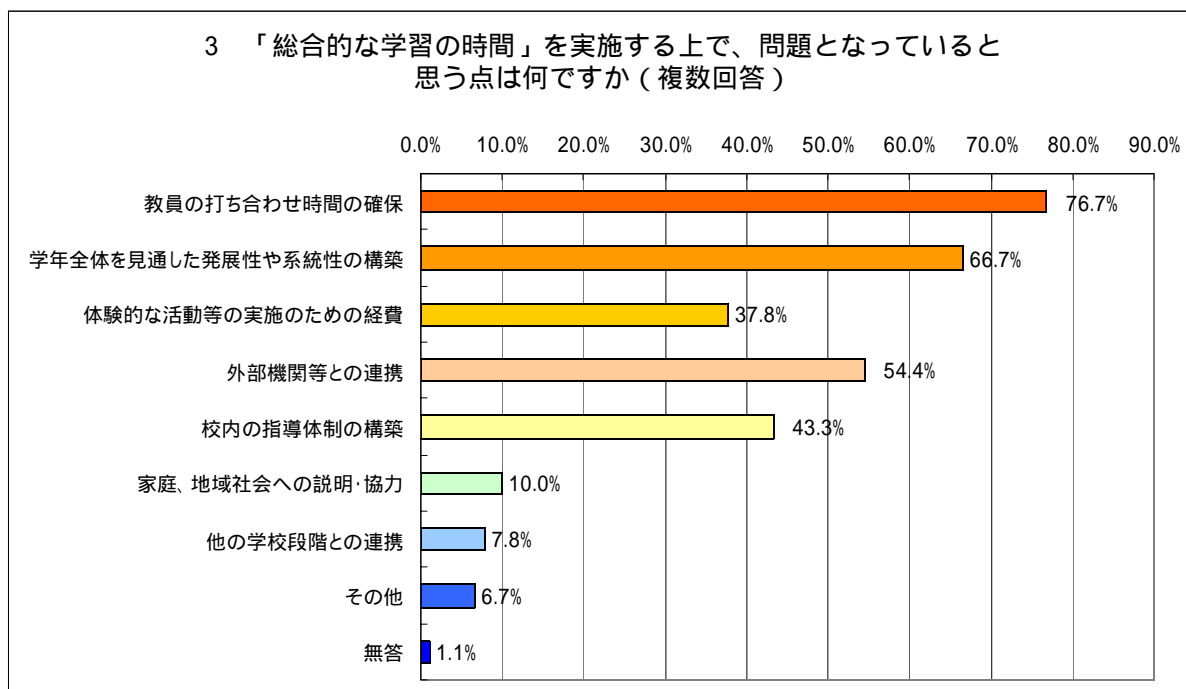
【参考】文部科学省「学校教育に関する意識調査（2003）」（中学校教員）

1 3.3% 2 59.4% 3 31.3% 4 2.3% 5 0.1% 無答 3.6%

問3 総合的な学習の時間の課題

「総合的な学習の時間」を実施する上で、問題となっていると思う点は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 教員の打ち合わせ時間の確保
- 2 学年全体を見通した発展性や系統性の構築
- 3 体験的な活動等の実施のための経費
- 4 外部機関等との連携
- 5 校内の指導体制の構築
- 6 家庭、地域社会への説明・協力
- 7 他の学校段階との連携
- 8 その他（具体的に)



小学校で2番目に多かった「教員の打ち合わせ時間の確保」が最も多く、8割弱（76.7%）であった。次が「学年全体を見通した発展性や系統性の構築」の66.7%、「外部機関等との連携」の54.4%であった。

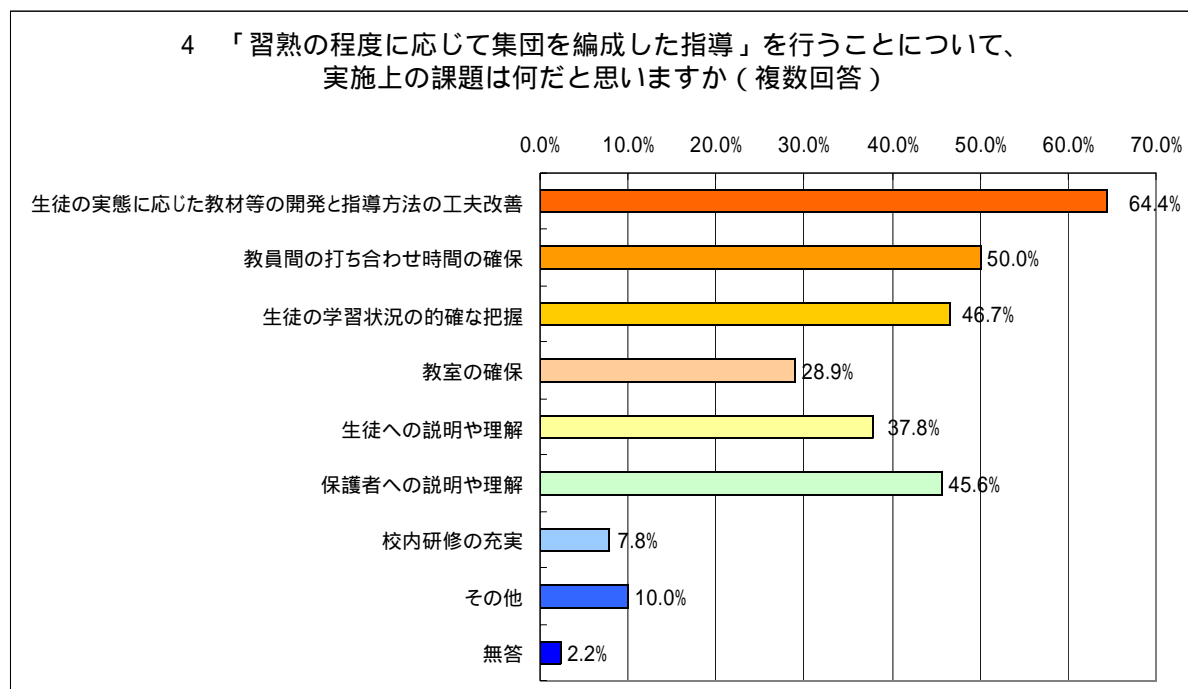
【参考】文部科学省「学校教育に関する意識調査（2003）」（中学校教員）

1	73.2%	2	49.3%	3	46.3%	4	39.5%	5	35.3%
6	22.5%	7	9.4%	8	9.3%	無答	2.4%		

問4 習熟度別指導の課題

「習熟の程度に応じて集団を編成した指導」を行うことについて、実施上の課題は何だと思えますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 生徒の実態に応じた教材等の開発と指導方法の工夫改善
- 2 教員間の打ち合わせ時間の確保
- 3 生徒の学習状況の的確な把握
- 4 教室の確保
- 5 生徒への説明や理解
- 6 保護者への説明や理解
- 7 校内研修の充実
- 8 その他（具体的に)



小学校と同様に、「生徒の実態に応じた教材等の開発と指導方法の工夫改善」をあげた学級担任が最も多く、6割強であった。次が「教員間の打ち合わせ時間の確保」の50.0%、「生徒の学習状況の的確な把握」の46.7%、「保護者への説明や理解」の45.6%であった。

【参考】文部科学省「学校教育に関する意識調査（2003）」（中学校教員）

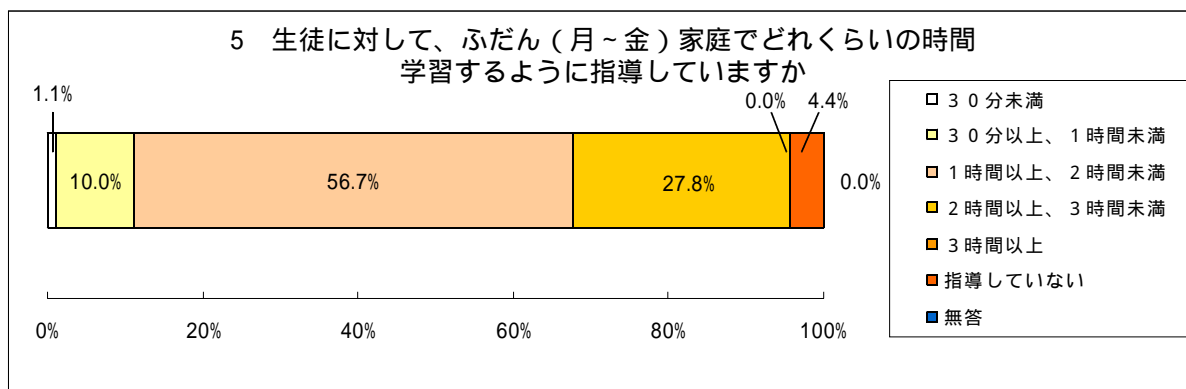
- | | | | | | | | | | |
|---|-------|---|-------|---|-------|----|-------|---|---|
| 1 | 69.6% | 2 | 47.0% | 3 | 56.4% | 4 | 35.9% | 5 | - |
| 6 | 19.3% | 7 | 10.5% | 8 | 12.2% | 無答 | 1.1% | | |

ただし、同調査では、5「児童への説明や理解」の選択肢はない。

問5 生徒生徒の家庭学習時間の指導

あなたは生徒に対して、ふだん（月～金曜日）家庭でどれくらいの時間学習するように指導していますか。あてはまるものを一つ選んでください。

- 1 30分未満
- 2 30分以上，1時間未満
- 3 1時間以上，2時間未満
- 4 2時間以上，3時間未満
- 5 3時間以上
- 6 指導していない



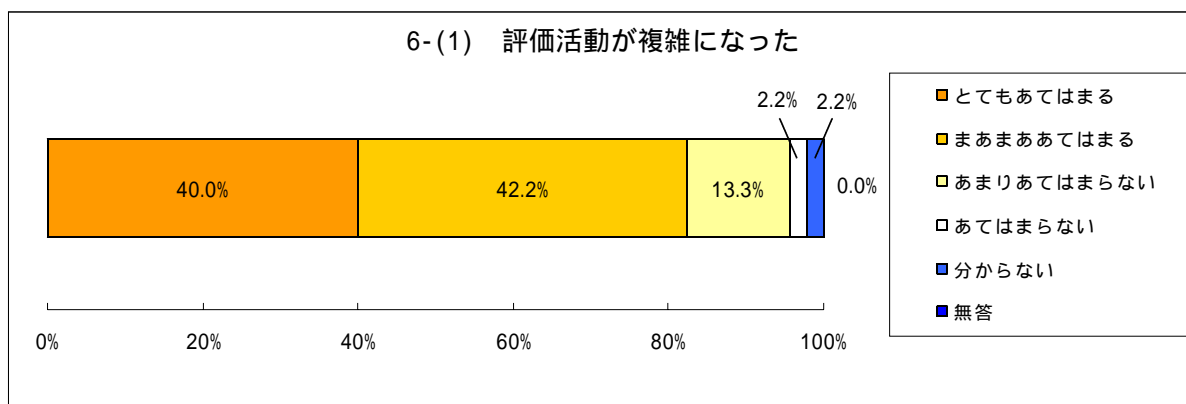
6割弱の学級担任が「1時間以上2時間未満」と答えた。次が「2時間以上3時間未満」の27.8%であった。

問6 - 1 評価活動

あなたの最近の生徒に対する「評価」を概観した上で、次のことについて、どの程度あてはまりますか。一つ選んでください。

「評価活動が複雑になった」

- 1 とてもあてはまる
- 2 まあまああてはまる
- 3 あまりあてはまらない
- 4 あてはまらない
- 5 分からない



「まあまああてはまる」を合わせると、8割以上の学級担任が評価活動が複雑になったと答えた。

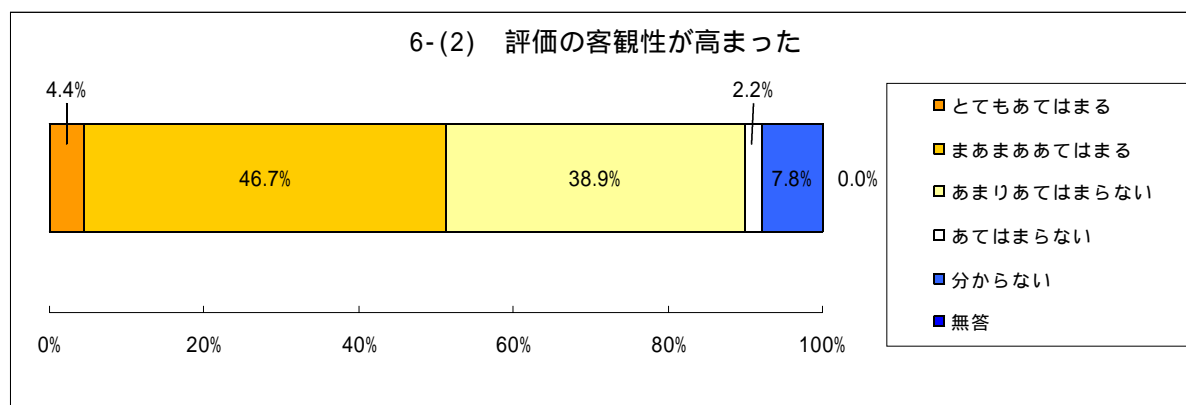
【参考】文部科学省「学校教育に関する意識調査（2003）」（中学校教員）

1 49.0% 2 29.1% 3 9.3% 4 4.4% 5 3.8% 無答 4.3%
ただし、同調査では「教員の評価活動が複雑になり余裕がなくなった」

問6 - 2 評価の客観性

あなたの最近の生徒に対する「評価」を概観した上で、次のことについて、どの程度あてはまりますか。一つ選んでください。

- 「評価の客観性が高まった」
- 1 とてもあてはまる
 - 2 まあまああてはまる
 - 3 あまりあてはまらない
 - 4 あてはまらない
 - 5 分からない

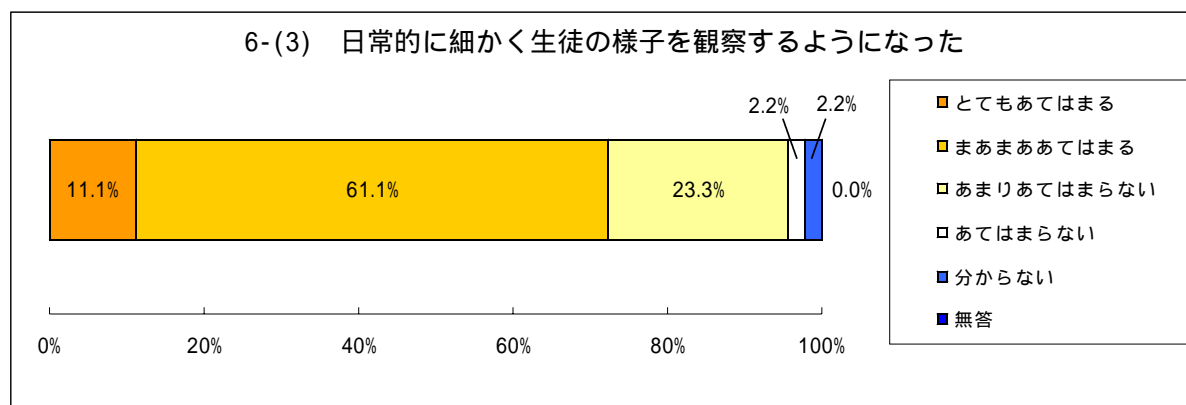


「まあまああてはまる」を合わせると、評価の客観性が高まったと答えた学級担任が5割強(51.1%)であった。

問6 - 3 生徒生徒の観察

あなたの最近の生徒に対する「評価」を概観した上で、次のことについて、どの程度あてはまりますか。一つ選んでください。

- 「日常的に細かく生徒の様子を観察するようになった」
- 1 とてもあてはまる
 - 2 まあまああてはまる
 - 3 あまりあてはまらない
 - 4 あてはまらない
 - 5 分からない



「まあまああてはまる」を合わせると、日常的に細かく生徒の様子を観察するようになったと答えた学級担任が7割強(72.2%)であった。

【参考】文部科学省「学校教育に関する意識調査(2003)」(中学校教員)

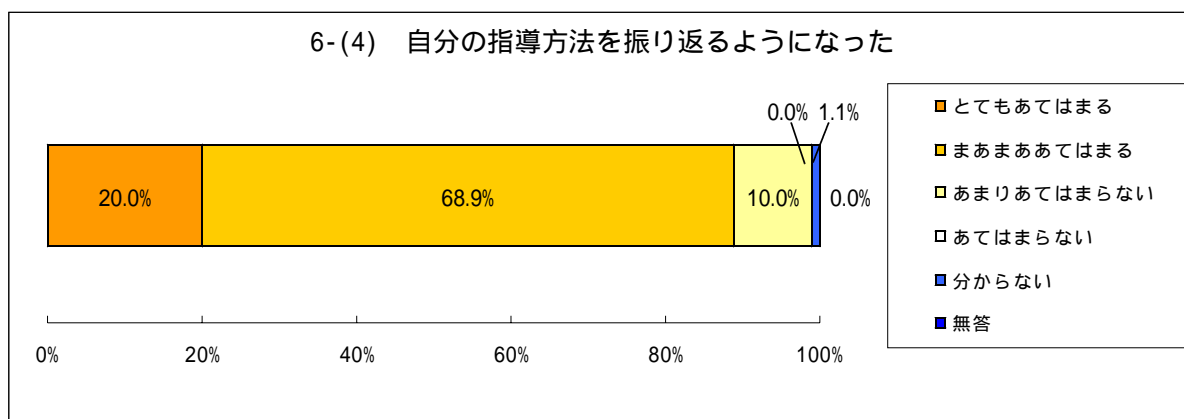
- 1 12.4% 2 49.5% 3 17.5% 4 12.3% 5 4.3% 無答 4.0%
- ただし、同調査では「日頃から、児童生徒一人一人をよく見るようになった」

問6 - 4 指導方法へのフィードバック

あなたの最近の生徒に対する「評価」を概観した上で、次のことについて、どの程度あてはまりますか。一つ選んでください。

「自分の指導方法を振り返るようになった」

- 1 とてもあてはまる
- 2 まあまああてはまる
- 3 あまりあてはまらない
- 4 あてはまらない
- 5 分からない



「まあまああてはまる」を合わせると、9割弱（88.9%）の学級担任が自分の指導方法を振り返るようになったと答えた。

【参考】文部科学省「学校教育に関する意識調査（2003）」（中学校教員）

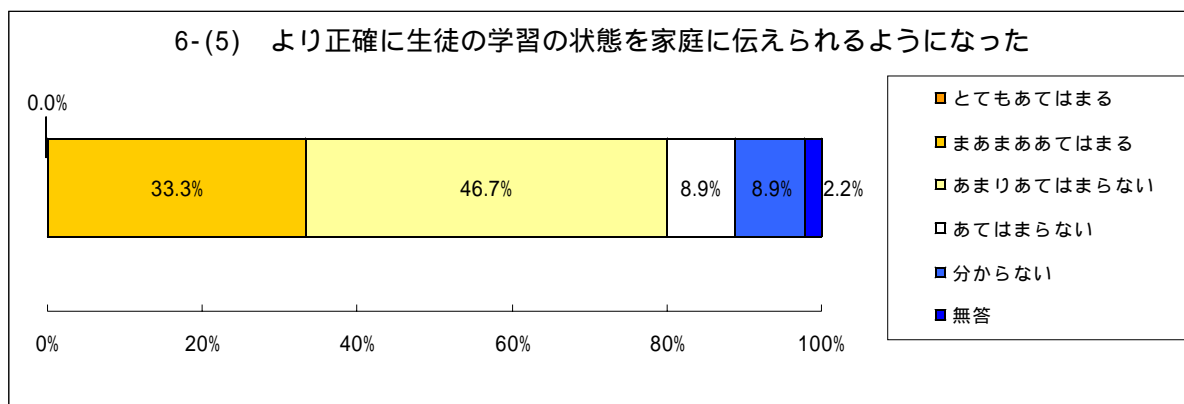
- 1 9.9% 2 46.5% 3 21.5% 4 11.0% 5 6.4% 無答 4.7%

問6 - 5 生徒生徒の学習の状態の連絡

あなたの最近の生徒に対する「評価」を概観した上で、次のことについて、どの程度あてはまりますか。一つ選んでください。

「より正確に生徒の学習の状態を家庭に伝えられるようになった」

- 1 とてもあてはまる
- 2 まあまああてはまる
- 3 あまりあてはまらない
- 4 あてはまらない
- 5 分からない



「まあまああてはまる」と答えた学級担任は3人に1人であった。半数近くの学級担任は「あまりあてはまらない」と答えた。

【参考】文部科学省「学校教育に関する意識調査（2003）」（中学校教員）

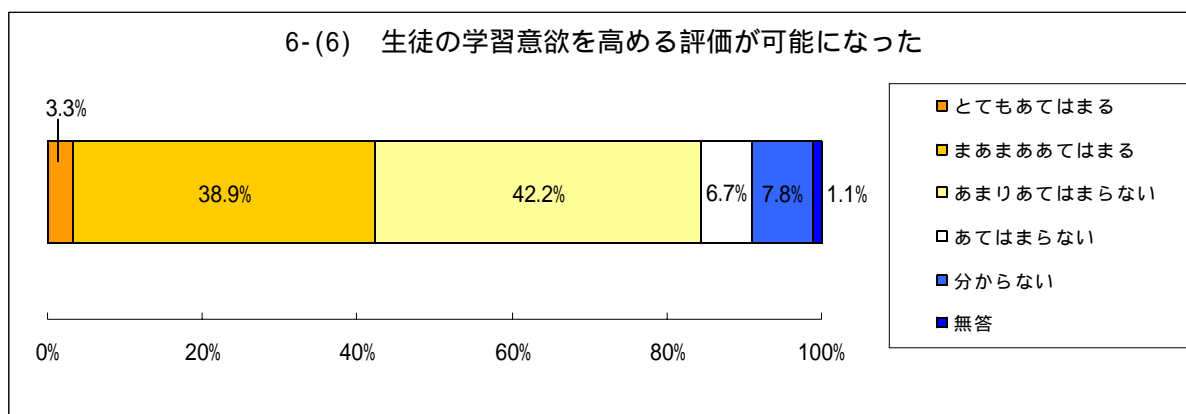
- 1 3.6% 2 32.5% 3 34.5% 4 16.8% 5 8.7% 無答 4.0%

問6 - 6 学習意欲を高める評価

あなたの最近の生徒に対する「評価」を概観した上で、次のことについて、どの程度あてはまりますか。一つ選んでください。

「生徒の学習意欲を高める評価が可能になった」

- 1 とてもあてはまる
- 2 まあまああてはまる
- 3 あまりあてはまらない
- 4 あてはまらない
- 5 分からない



「まあまああてはまる」を合わせると、4割強（42.2%）の学級担任が生徒の学習意欲を高める評価が可能になったと答えた。

【参考】文部科学省「学校教育に関する意識調査（2003）」（中学校教員）

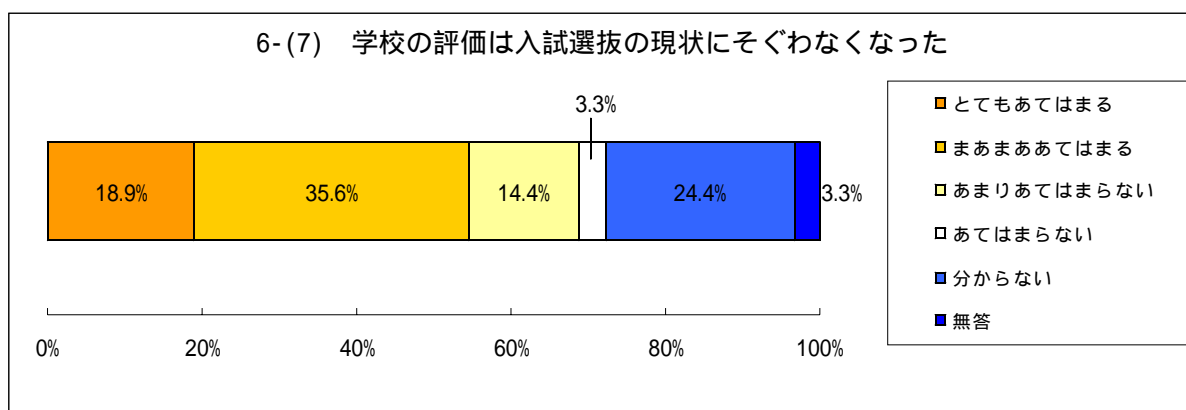
1 4.9% 2 37.1% 3 29.7% 4 15.0% 5 8.7% 無答 4.7%

問6 - 7 評価と入試選抜方法

あなたの最近の生徒に対する「評価」を概観した上で、次のことについて、どの程度あてはまりますか。一つ選んでください。

「学校の評価は入試選抜の現状にそぐわなくなった」

- 1 とてもあてはまる
- 2 まあまああてはまる
- 3 あまりあてはまらない
- 4 あてはまらない
- 5 分からない



「まあまああてはまる」と合わせると5割以上であった。これは、小学校（23.8%）よりかなり多い。また、約25%（24.4%）の学級担任は「分からない」と答えた。

【参考】文部科学省「学校教育に関する意識調査（2003）」（中学校教員）

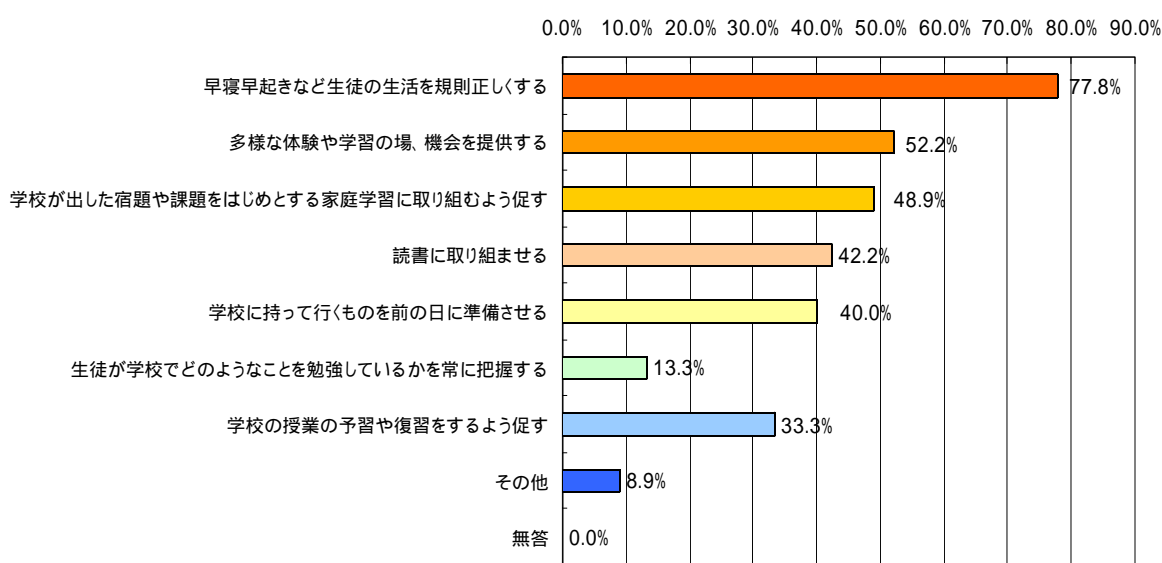
1 49.9% 2 25.3% 3 7.2% 4 3.7% 5 9.1% 無答 4.9%

問7 家庭や地域社会に望むこと

生徒に学びの習慣を身に付けさせるため、日ごろ、家庭や地域社会にどんなことをしてもらいたいですか。次の中からすべて選んでください。

- 1 早寝早起きなど生徒の生活を規則正しくする
- 2 多様な体験や学習の場、機会を提供する
- 3 学校が出した宿題や課題をはじめとする家庭学習に取り組むよう促す
- 4 読書に取り組ませる
- 5 学校に持って行くものを前の日に準備させる
- 6 生徒が学校でどのようなことを勉強しているかを常に把握する
- 7 学校の授業の予習や復習をするよう促す
- 8 その他（具体的に）

7 生徒に学びの習慣を身に付けさせるため、日ごろ、家庭や地域社会にどんなことをしてもらいたいですか（複数回答）



小学校で5番目だった「多様な体験や学習の場、機会を提供する」が、中学校では2番目に多かった。また、小学校で3番目だった「学校に持って行くものを前の日に準備させる」は5番目であった。

小学校で6.1%しかなかった「学校の授業の予習や復習をするよう促す」が、中学校では33.3%であった。

「その他」は、「生涯学習の大切さを伝える取組」、「学ぶことの大切さを家族も理解すること」、「食事をしっかり摂る」などであった。

【参考】文部科学省「学校教育に関する意識調査（2003）」（中学校教員）

1	71.7%	2	56.7%	3	48.6%	4	35.9%	5	33.4%
6	23.3%	7	29.9%	8	8.8%	無答	1.9%		